アイ・エー通信　2026.11

情報漏洩

サイバーセキュリティの問題は一向に収まる気配がありません。GMOの「お名前.com」や、運転免許証の画像まで流出したタイムズカー（約660万件）をはじめ、情報漏洩のニュースが相次いでいます。身近なところでは10月、自治体の防災情報メールなどを請け負う会社が不正アクセスを受け、静岡市・島田市・牧之原市・菊川市・御前崎市など県内6市1町で、登録者のメールアドレスなどが流出したおそれがあると発表されました。浜松市消防局でも、消防団員への連絡や119番の文字通報のサービスで漏えいの可能性があるそうです。また警察庁によると、今年上半期のランサムウェア被害は過去最多の123件、うち約6割が中小企業でした。「うちみたいな小さな会社は狙われない」は通用しません。

パスワード

一番の備えは、パスワードの使い回しをやめることです。一か所から漏れたIDとパスワードは、他のサイトでも次々に試されます。例えば・・・

・自分だけの基本形…誕生日や電話番号ではなく、自分にしか意味のない言葉＋数字で。例えば、初めて飼った犬の名前「ハナ」と、初めて乗った車を買った年「87」で「Hana#87」のように。SNSで話題にしているものは避けるのがコツ

・基本形＋サイト名…Amazonなら「Hana#87amz」、楽天なら「Hana#87rak」。サイト名を逆さにする、位置を変えるなどの一工夫を

・銀行とメールは別格…お金に直結する銀行と、パスワード再設定の窓口になるメールは、基本形を使わず完全に別のものに

・アプリに任せる…iPhoneの「パスワード」アプリ、Googleパスワードマネージャー、1Passwordなら覚えるのは1つだけ。顔や指紋でログインする「パスキー」も広がっています

ただし、先月お話しした私のスマホ故障のように、スマホが突然使えなくなると、アプリのパスワードや二段階認証まで一緒に使えなくなります。「スマホがない日」の想定も大切です。

※例はあくまで例です。そのまま使わないでください。

対策

パスワードと合わせて、次のことも見直してみてください。例えば・・・

・二段階認証…銀行・メール・SNSは必ずオンに

・メールやSMSのリンク…「支払情報更新」などは押さず、公式アプリやブックマークから確認

・更新…パソコン・スマホ・ルーターは常に最新に。大事なデータはネットから切り離した場所にも保存

・スマホが使えなくなった時に備えて…パスワードはiCloudやGoogleアカウントに同期。二段階認証の「バックアップコード」や管理アプリの親パスワードは紙に書いて自宅の安全な場所に保管

・漏洩チェック…Googleの「パスワードチェックアップ」などで確認

・事業者の方は…退職者のアカウントや、みんなで使っている共用パスワードを放置しないなどなど…面倒に感じるかもしれませんが、一度設定すれば後はぐっと楽になります。

さいごに

日々技術は進化し、それ以上のペースで悪事の手口も進化しています。万全の対策を求めてもキリがないので、「漏らさない」ことと同じくらい、「漏れても被害を広げない」備えが大切です。パスワードの見直しは、スマホ1台あれば今日からでも始められます。年末の慌ただしさの前に、ご家族や職場で一度話題にしてみてください。今月もどうぞご安全に。（浅井）